

5周年を迎え、より一層活動の軸を広げて...



2011年6月11日(土)、スイスホテル南海・大阪で総会が... 行われました。昨年の行事報告と収支報告、並びに本年度の事業計画案が発表され、5年目となったNPO法人関西演芸推進協議会は創設から目標に掲げて来た活動の方向を再確認し、また新たな1年をスタートさせています。

本年度の主な活動・イベントとしては12月に劇団往来との共催で公演を大丸心斎橋劇場で予定しています。また、5周年なので記念誌の発行を企画。(会員の皆様全員にコメントを頂きたくDMと一緒にご案内をお送りしますので、ご協力お願い致します。)また、例年通りの講演会や出前寄席も随時企画・開催の予定などが報告されました。

2011年6月11日(土) 於) スイスホテル南海大阪 18:00~

講演会 大阪の笑いとファッション... 「おかあちゃん」小篠綾子さんとのエピソード

「おかあちゃんはね...」と気取らない雰囲気でお話された世界のファッションデザイナー コシノヒロコさん。お若くて、イキイキとされ、チャーミングな印象を受けました。今回は、今秋からNHK朝の連続テレビ小説「カーネーション」が決まったということもあって、お母様である小篠綾子さんとのエピソード、家族との絆を主題にお話いただきました。ご自身がファッションデザイナーとして活躍する背景にはお母様の生き様が大きなバックボーンにあると切り出されました。

「私はな、子どもらのことは一切かまいませんねん、ほったらかしですすねん。」と周りに話されていたという。しかし、娘であるヒロコさんが遠足だと言えば、ご職業がデザイナーということもあって、素敵な洋服を徹夜で作られて...しかし、その一着がコシノ姉妹のケンカの種となったと笑い話として話される...カッコイ姉妹にも人間らしい生き様。そこに人との絆、家族の愛があるのだという。お母様は、戦後の厳しい時代に、ご主人を亡くされ、洋服で身を立っていたのだが、仕事の邪魔になると、娘たちには習い事をさせたり、頻りに散髪屋へ行かせたりと仕事を精力的にこなすために苦勞されたとのこと。しかし、そんな日常が、コシノ姉妹の斬新な発想、アイデアの源になっているのだと...。「おかあちゃんの発想がまたメチャメチャ、だけど、またそれが私たちをこう育てたんです。」と。ある日、お母様が「ヒロコ、車、買ったで〜」と東京にいるヒロコさんに連絡が入ったという。家族は誰も運転免許をもっていないのに...ヒロコさんも車に乗りたい気持ちだけで、東京の教習所で3日間だけ講習を受け、帰阪。無謀にも車を見つけたら、ハンドルを持って...免許も取得せずに車を走らせ、予測もしないトラブルに遭遇!その後、お母様を隣に乗せて、免許がなくても大丈夫な路を走らせた。お母様に指示され...その時は怖い体験をされたはずなのに、おもしろ可笑しく話してくださいました。話を聞いているとハチャメチャで豪快なのですが、お母様のポリシーとして「与える」より「与えらる」ことが喜びだとよく言われていたという。ファッションデザイナーという職業は、「人を美しく、幸せにすることが使命」と言われることに通じる。そこに「愛」があったということが全てを繋ぐ、本当に温かく、美しい話を聞いたような気がする。現在は、次のコレクションの為にファッションのみならず、アートの領域にも幅を広げ、芦屋のアトリエで創作活動に精を出されているとのことでした。ますますのご活躍を楽しみにしています。



コシノヒロコさん



コシノヒロコさんデザインの衣装を自らで紹介いただきました。

「おかしな話、お母様も私も、お母様の生き様が大きなバックボーンにあると切り出されました。私はな、子どもらのことは一切かまいませんねん、ほったらかしですすねん。」と周りに話されていたという。しかし、娘であるヒロコさんが遠足だと言えば、ご職業がデザイナーということもあって、素敵な洋服を徹夜で作られて...しかし、その一着がコシノ姉妹のケンカの種となったと笑い話として話される...カッコイ姉妹にも人間らしい生き様。そこに人との絆、家族の愛があるのだという。お母様は、戦後の厳しい時代に、ご主人を亡くされ、洋服で身を立っていたのだが、仕事の邪魔になると、娘たちには習い事をさせたり、頻りに散髪屋へ行かせたりと仕事を精力的にこなすために苦勞されたとのこと。しかし、そんな日常が、コシノ姉妹の斬新な発想、アイデアの源になっているのだと...。「おかあちゃんの発想がまたメチャメチャ、だけど、またそれが私たちをこう育てたんです。」と。ある日、お母様が「ヒロコ、車、買ったで〜」と東京にいるヒロコさんに連絡が入ったという。家族は誰も運転免許をもっていないのに...ヒロコさんも車に乗りたい気持ちだけで、東京の教習所で3日間だけ講習を受け、帰阪。無謀にも車を見つけたら、ハンドルを持って...免許も取得せずに車を走らせ、予測もしないトラブルに遭遇!その後、お母様を隣に乗せて、免許がなくても大丈夫な路を走らせた。お母様に指示され...その時は怖い体験をされたはずなのに、おもしろ可笑しく話してくださいました。話を聞いているとハチャメチャで豪快なのですが、お母様のポリシーとして「与える」より「与えらる」ことが喜びだとよく言われていたという。ファッションデザイナーという職業は、「人を美しく、幸せにすることが使命」と言われることに通じる。そこに「愛」があったということが全てを繋ぐ、本当に温かく、美しい話を聞いたような気がする。現在は、次のコレクションの為にファッションのみならず、アートの領域にも幅を広げ、芦屋のアトリエで創作活動に精を出されているとのことでした。ますますのご活躍を楽しみにしています。



色鮮やかな講義、中井宏次氏

「おかしな話、お母様も私も、お母様の生き様が大きなバックボーンにあると切り出されました。私はな、子どもらのことは一切かまいませんねん、ほったらかしですすねん。」と周りに話されていたという。しかし、娘であるヒロコさんが遠足だと言えば、ご職業がデザイナーということもあって、素敵な洋服を徹夜で作られて...しかし、その一着がコシノ姉妹のケンカの種となったと笑い話として話される...カッコイ姉妹にも人間らしい生き様。そこに人との絆、家族の愛があるのだという。お母様は、戦後の厳しい時代に、ご主人を亡くされ、洋服で身を立っていたのだが、仕事の邪魔になると、娘たちには習い事をさせたり、頻りに散髪屋へ行かせたりと仕事を精力的にこなすために苦勞されたとのこと。しかし、そんな日常が、コシノ姉妹の斬新な発想、アイデアの源になっているのだと...。「おかあちゃんの発想がまたメチャメチャ、だけど、またそれが私たちをこう育てたんです。」と。ある日、お母様が「ヒロコ、車、買ったで〜」と東京にいるヒロコさんに連絡が入ったという。家族は誰も運転免許をもっていないのに...ヒロコさんも車に乗りたい気持ちだけで、東京の教習所で3日間だけ講習を受け、帰阪。無謀にも車を見つけたら、ハンドルを持って...免許も取得せずに車を走らせ、予測もしないトラブルに遭遇!その後、お母様を隣に乗せて、免許がなくても大丈夫な路を走らせた。お母様に指示され...その時は怖い体験をされたはずなのに、おもしろ可笑しく話してくださいました。話を聞いているとハチャメチャで豪快なのですが、お母様のポリシーとして「与える」より「与えらる」ことが喜びだとよく言われていたという。ファッションデザイナーという職業は、「人を美しく、幸せにすることが使命」と言われることに通じる。そこに「愛」があったということが全てを繋ぐ、本当に温かく、美しい話を聞いたような気がする。現在は、次のコレクションの為にファッションのみならず、アートの領域にも幅を広げ、芦屋のアトリエで創作活動に精を出されているとのことでした。ますますのご活躍を楽しみにしています。

関西の上質な演芸文化のために...

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか... 関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思います。あなたの会費で、まっさら、参加してもう一歩... と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声をかけいただければ幸いです。 公式ウェブサイトもご覧ください。 http://www.walive.org



笑ライヴ 第12号

walive 2011年7月

「笑ライヴ」とは... 「笑」、「喜」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、ふんを笑う「笑」の想いから名前にしました。

発行 NPO法人関西演芸推進協議会 編集部 <事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内 TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435 http://www.walive.org info@walive.org

INFOMATION

会員の皆様には、いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。おかげ様で、今年の4月で5周年に入りました。会報誌も気がつけば12回目の発行。毎回、行事が充実してきて、誌面の構成もイベント開催の報告だけで一杯になってしまう程です。今号も、春から初夏までに開催されたイベントをご紹介しますが、「笑ライヴ」と名付けた会報誌、「笑」と「ライヴ」をお伝えするべくスタートしました。まだまだ課題がたくさんありますが、今日までおつきあい頂いたことに感謝するとともに、素晴らしいイベントの報告やご案内をライヴ感覚でお伝えできれば...と。さあ、今回も充実の内容です...が、採点の程は...? (笑)

CONTENTS

- ☆定例会 「健康とユーモア〜笑って免疫力アップ」...1頁 (講演: NPO法人笑ライヴ 部長 中井宏次氏) ☆推進会議の報告 ...2頁 ☆「あきない」 「お笑いオープンフェスタ」 ...3頁 ☆5周年記念誌発行にあたって... ☆総会・講演(コシノヒロコ氏) ...4頁 ☆協議会入会のご案内 他

定例会 健康とユーモア〜笑って免疫力アップ



色彩感覚も豊かでお洒落な講師、中井宏次氏

笑いの効用を面白く解説

当協議会開催の「笑らいふ」(ワッハ上方・2009年)でも司会をしていただいたり、当会報誌でもご寄稿いただいたりと、何かとお世話になっている中井宏次さんが、今回の講師。ご自身も癌を患ったという経験をお持ちであることが、今回のテーマ「笑って免疫力アップ」が、より説得力を高めていきましたが、それよりも、病気を寄せ付ける隙さえ与えてくれそうにない程、とにかく笑った、笑った!ただ、可笑しいというのではなく、「笑う」ということに、人とのつながり、心の動きや情緒の豊かさを感じる美しい旋律のようなものを学んだような気がした内容の深い講演でした。

健康・人間関係・想像力に... 幸せ招く笑いの効果!

今回の講演は、私たち受講者に課題を投げかけ、一緒に「笑う」ことを考えるといった趣向のもの。笑いには3つの効用「健康力」、「人間関係力」、「想像力」があるという。免疫力アップというテーマに基づいての旋律としては、身体と心への影響として「顔」が笑うことで、いい表情を生み、「心」で笑うことで五感で感じ、「脳」が笑うことで教養を養うという好循環が生まれるということなのだそう。実際、脳で笑うということのケーススタディとして、川柳を作った後、受講者とディスカッション。自分の「笑い」の感覚を投げて反応を喜ぶ感覚、また逆に、他人の「笑い」を受けて共感したり、感動したり...。このような循環により、人とのコミュニケーションも円滑になるといふこと...。せつかつなので、講演で一番笑った「川柳」をいくつか紹介します。

- ストレスか 聞かれる上司が その原因 ●新年会 肉に乗り過ぎて 送別会 ●ダイエット 乗馬に通り 馬がやせ ●妻の声 昔ときめき 今動悸 ●恋仇 譲ればよかった 今の妻 ●指輪より まわしが似合う 銀婚式

出所: 第一生命「サラリーマン川柳」

他にも...「人生を楽しむ」ということ あなたの幸せBEST10. ペンネームのすすめ...などなど。受講後は免疫力UPを感じました!

「笑いの経営的効果」ユーモア人材は会社を変革する 面白い人間が会社と社会を変えていく

これからは、ユーモア人材をもっと大切にすべきだろう。私が考える面白い人は、笑われることを楽しむという才能の持ち主。成績は中程度かも知れないが、職場の人氣者で、例えば緊張した会議の場でも、わからないことがあれば臆面もなく尋ねることができる人物だ。どの会社にも一人はいるだろう。笑われることもチャンスと捉えるから、いろいろな新しい発想を出することができるのだ。経営者も同じだ。経営者に必要なものとして、「運・勤・度胸」の三つがよく挙げられる。これらは幸せ感、感性や教養を兼ね備えることによって導かれるものと思う。つまり、ユーモア人材の条件が経営者の条件と重なるのだ。実際、私が多くの経営者に接して気づいたことは、優秀な経営者には、ユーモアのセンスの豊かな人が多い。それから遊びと恋心。優秀な経営者にとって、休日は休む日ではなく遊ぶ日らしい。いろいろな物事に対していい意味のスケベ心を持っていて、よく遊んでいる。経済破綻や高齢社会の到来など、現代には、大きな問題が山積みだ。これまで日本人がやってきたような、ものまねをこつこつ真面目に、という方法では太刀打ちできない。今こそ、面白い発想を引き出し、大切にすることで、会社も社会も変わっていくのではないだろうか。

(先見経済 2010年4月号 | 25〜27ページ掲載・演習会セミナー講演録大阪 | 2010年2月19日(金)より一部を抜粋して紹介しました)



グループディスカッションの様子

編集後記

東北大震災から4ヶ月になろうとしています。メディアで見る被災地の人々の表情...。全てを見てはいる訳ではないから何も表現できませんが、今号の編集をしながら、涙、笑い、人間関係、家族、愛...。何が役に立つのかわかりませんが、活動を続けて本当に色んなことを動員させていただいたのですが、今回、総会で講演いただいたコシノヒロコさんが「ちえうる」より「ちえる」喜び、という言葉に響きました。人を輝かせること、人を幸せにするために生きているということ...。今の自分に何が出来るのか、と無力さを痛感するのですが、まずは、身近なことから始めて見よう。家族、友人、仕事仲間...大きなことではできないけど、間違いなく一緒に生きている、と実感。でも、身近な人には聞けなくて本当に「愛」をささやけなかったりする(笑)でも、行動で伝わってくるものなんだよね...。何だか時々としながらの今日この頃ですが、やっぱり人と触れ合って、笑えること、大事です。ね。

「新年度の活動とイベントの企画提案会」で和気藹々と…

月に1度行っているスタッフ会議とは別に、昨年にも行いました推進会議を会員の皆様と行いました。近々に迫っていた「あきない祭」や、6月開催の定例総会の打合せをはじめ、23年度に行う行事を議案に、皆様のご意見を頂戴し、楽しく交流させていただくことができました。また、スタッフにはない斬新な発想にも出会うことができ、新しいイベント企画も計画がはじまりました。



12月に五周年記念公演「虫」を演出される劇団往来・鈴木健之亮社長



司会進行は事務局長・石井サト子さん



5月のイベント「あきない祭り」の運営責任者に富田健介さん



「あきない祭」で舞台上立つことになった滋慶学園の学生のみなさん

落語鑑賞会と現場探訪 ツアー

毎回、講師を招いて行っている定例会に新しい企画を…と投げかけたところ、色んな意見が飛び交いました。当協議会が発足から掲げて来たコンセプトのひとつにある「鑑賞者を育てる」。それに相応しい案として、「落語鑑賞ツアー」があげられました。まずは、落語をみんなで鑑賞し、次の例会で落語の舞台となった場所を探訪するという立体的な試みです。

この企画、今秋にも実現させる予定で計画中です。皆様もご案内をお待ちください。また、今年度のビッグイベントとしては、6月の総会と同時開催の講演には大阪・岸和田出身の世界のファッションデザイナー・コシノヒロコさんを講師に招いて行うことが決まっております。12月には当協議会相談役の藤本義一先生の著書「虫」を協議会理事・劇団往来代表取締役 鈴木健之亮さんの演出で大丸心斎橋劇場で公演するなど、これまでとはまた違った演芸とのふれあいをお楽しみいただけることと思います。順次、DMやホームページでご案内させていただきますので、会員のみなさま、どうぞ楽しみにしてくださいね。

「あきない祭」公開録音 5/21 ON AIR 決定!

5月の「あきない祭」では、ラジオ大阪により公開録音を行い、5月21日(土)の放送されました。私どもの活動が電波によって紹介されるということも新しい第一歩となり、若手芸人にとっては、またとないチャンス…。共に精一杯の力が発揮されたことと思います。また、番組には企業8社からスポンサーのご協力をいただき実現したものです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

★ご協力スポンサー企業★

森下仁丹株式会社 株式会社小学館集英社プロダクション
相互タクシー株式会社 滋慶学園グループ 千房株式会社
大阪市ゆとりとみどり振興局

2011年4月18日(月)
於) 大阪市立
総合生涯学習センター
第一研修室
18:30~

上方演芸よもやまばなし (第8回)

ある店で、さんざん商品を見た挙句、買わずに帰った客の後ろ姿を見ながら店主が一言、「夏の船やなあ」。それを見ていた隣の店主が「ほんま、雨降りの太鼓や」。さて、この会話の意味がわかった人は、かなりディープな大阪人!? 答えは「見いくさって買いくさらんあ(身が腐って貝は腐らん)」「ほんま、どんなん(雨で湿気でドンと音も聞かん)」。

これ、一昔前まで大阪の商人のあいだで交わられていた商人言葉で、現在は「大阪落語ことば」「なにわ落語ことば」などと呼ばれています。滅多にというか、全く使われなくなりましたが、落語の世界では今も生きている言葉です。ストレートでなく、あえて遠まわしな表現をすることで、会話に柔らかさが生まれるのです。

会話が柔らかいと心にもゆとりが生まれ、それがコミュニケーションの活性化へつながる…。今でも断る時、はっきり「NO」と言わずに「考えときます」と答えるのも同じ原理ですね。

現在のビジネスシーンでも「なにわ落語ことば」を使えば、意外喜ばれるかもしれません。 松井 あゆ子

他にもあるある なにわ落語ことば

①金輪の川流れ②どん屋の軒③縁の縁入り④赤子の行木
意味:①頭が上がない②出し抜かれる③儲け(儲)と相談④足ら(ク)ライで泣く
……など

2011年
5月7日(土)・5月8日(日)
於) 旧精華小学校

毎年、恒例となっている大阪市商店会総連盟主催の「あきない祭」に今年も参加。5月の爽やかな空の下で、「商」と「笑」のコラボレーション企画として賑やかな2日間となりました。今年の新企画としては、滋慶学園の学生の司会と漫才、フレッシュなストリートダンスが奮闘してくれました。



OSK歌劇団の智さんの歌で華やかに…



平松大阪市長



シンデレラエキスプレス



ラジオ大阪での放送に輝いたお力添えを頂いた黒田企画・黒田ディレクター



自由きまま



プリンセス金魚



代まつくに



ボルトボルス



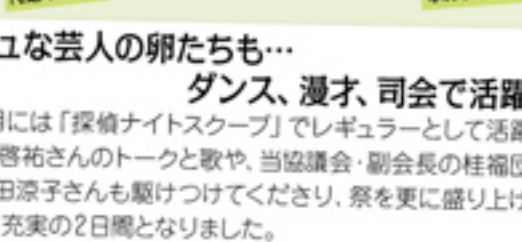
フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ

フレッシュな芸人の卵たちも…

ダンス、漫才、司会で活躍

また、2日目には「探偵ナイトスクープ」でレギュラーとして活躍された立原啓祐さんのトークと歌や、当協議会・副会長の桂福団治師匠、園田涼子さんも駆けつけてくださり、祭を更に盛り上げてくださり、充実の2日間となりました。



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ



フレッシュなメンバーで構成されていたストリートダンスグループ

「5周年記念誌」発行にあたってご協力をお願いします。

当協議会の活動もおかげ様で5年目に入りました。

そこで、節目としてこの会報誌「笑らいふ」の5周年特別記念号を作成して皆様のお手元にお届けしたいと考えております。

記念誌には会員様のページを企画しており、皆様のご寄稿を頂きたくDMでもご案内させて頂いておりますが、

『①笑は商なり ②笑は昌なり ③笑は勝なり』の

お好きなテーマを文章100文字で、全会員様に寄稿をお願いします。

お手元に指定の用紙をお届けしますので、そちらにご記入いただき、

ご返送ください。

ご多忙のところ恐縮でございますが、何卒ご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

皆様からの
ご寄稿をお願いします

テーマ:「しょう」

【商】【昌】【勝】

の文字(100文字に納めてください。)

※お願写真1枚と一緒に
お送りください。

メールでの受付も歓迎します。
送信先 info@of-one.jp

